

▼活動の目的

有明浜は、昨年の台風による高潮被害で砂浜や市が天然記念物に指定している海浜植物に甚大な被害が出ました。

浜辺の回復状況を海浜植物の観察調査で資料を作り、徐々に回復する様子を、地域の子ども達も参加して調べ、自然の大切さを体験を通して学んでもらう。

▼活動の内容

- 2kmの海岸を5ポイントで堤防から波打ち際に向かって海浜植物の自生地を計る。
- 昨年の台風で、削り取られた自生地での芽生えの状態を調査する。
- 地域の学校活動を支援。海浜植物の名前、特徴、植生、生態を解説する。



【海浜植物の観察】

▼活動の効果

- 被害にあう前に、自生地を共有していたものの中でも、回復の早いもの（スナビキソウ）、遅いもの（コウボウムギ）があり、砂中での根茎の生態の相違を知ることができた。
- 子ども達が、長い時間を経て、美しい風景を作るのも自然だが、それを一夜にして無惨な姿に変えるもの自然の力であることを実感し、自然の大切さを体験活動で学んだ。

▼苦勞した点・反省点

有明浜は、国立公園と一部、名勝琴弾公園に含まれるため、活動によっては、いろんな規制で自由にできない。行政や関係各所の許可が必要になる。

